

1 次の にあてはまる数を求めなさい。

(1) $1.2 \times \left(\text{□} \div 2.25 + \frac{5}{6} \right) + 4\frac{1}{3} \times \frac{1}{5} = 2$

(2) うるう年ではない年の11月11日が水曜日のとき、同じ年の1月11日は 曜日でした。

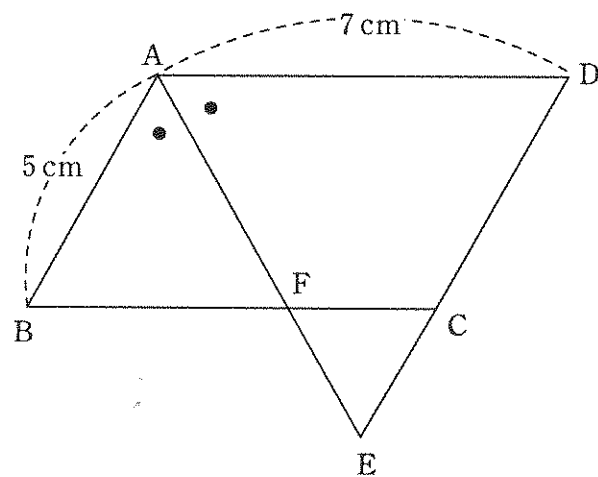
(3) 4で割ると1余り、5で割ると1余り、9で割ると2余る整数のうち、一番小さな数は です。

(4) ある川に沿った2地点間を、2せきの船P、Qがそれぞれ往復します。

船Pは上りに60分かかり、下りに40分かかります。船Qは上りに30分かかり、下りに 分かかります。

(5) A、B、C、D、E、Fの6人を3人ずつ2組に分けます。このとき、分け方は全部で 通りあります。

(6) 下の図のような平行四辺形ABCDにおいて、角Bの大きさが60度のとき、三角形CEFの面積は、平行四辺形ABCDの面積の 倍です。ただし、●のついた角の大きさは等しいことを表します。



問題は5ページに続きます。

2 原価 500 円の商品を 5 割の利益を見込んで定価をつけて売り出しました。定価でいくつか売りましたが、売れ残ってしまったため、残った商品を定価の % 引きの 660 円で売ることになりました。その値段で残りをすべて売り切ると、1 個あたりの利益は、原価の 47% になります。

(1) にあてはまる数はいくつですか。

(2) 定価で売った個数と定価で売れなかった個数の比は何対何ですか。

実際には 660 円ですべて売り切ることはできず、残っていた商品の半分の個数しか売れませんでした。そこで、さらに 50% 引きで売ったところ、残りすべてを売り切ることができました。

(3) 商品 1 個あたりの実際の利益は、原価の何% ですか。

問題は 7 ページに続きます。

3 はじめ、A 君と B 君と C 君の 3 人の所持金の比は $4:7:6$ でした。

い 円のおこづかいをもらったので、そのおこづかいを 3 人で分けることにしました。

予定では、A 君と B 君と C 君で い 円を $2:3:4$ の比で分けるつもりでしたが、
間違えて $4:3:2$ の比で分けてしまったため、3 人の所持金の比は $8:9:7$ になりました。

もし、A 君が C 君に 1200 円を渡せば、3 人の所持金は予定通りとなり、A 君の所持金は う 円になります。

(1) い にあてはまる数はいくつですか。

(2) おこづかいをもらう前の 3 人の所持金の合計は何円でしたか。

(3) う にあてはまる数はいくつですか。

問題は 9 ページに続きます。

4 次の問題に答えなさい。

(1) 下の図1のように、合同な2つの直角三角形を並べました。え にあてはまる数はいくつですか。

(2) 下の図2のように、合同な2つの直角三角形を並べました。お にあてはまる数はいくつですか。

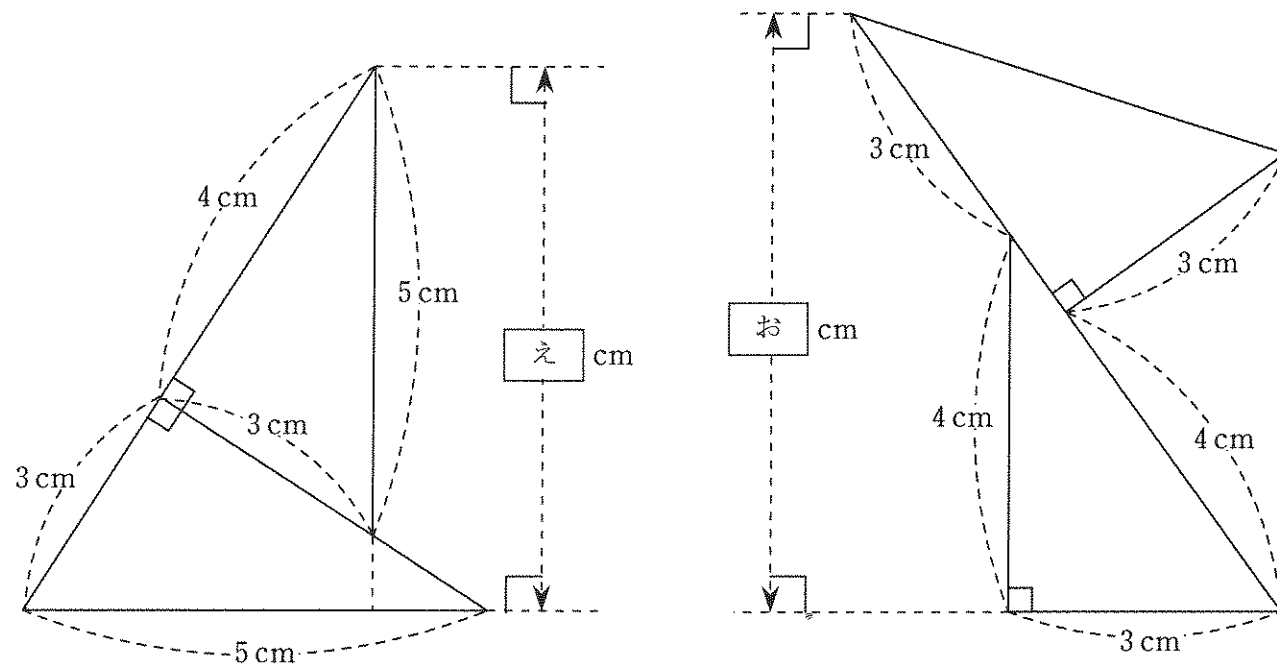


図1

図2

(3) 下の図3のように、合同な2つの三角形を並べました。か にあてはまる数はいくつですか。

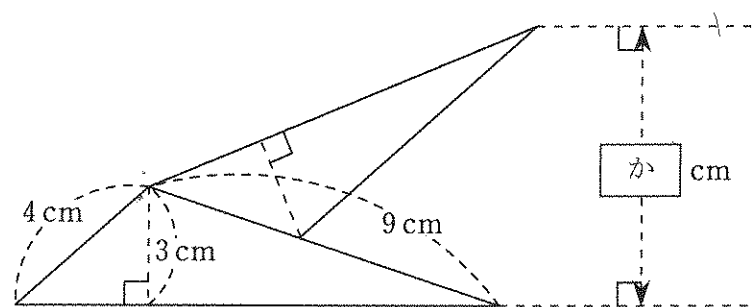


図3

問題は以上です。

平成 29 年度 算数（先端A） 解答用紙

* 印の欄には記入しないで下さい。

1

(1)		(2)	曜日	(3)	
(4)	分	(5)	通り	(6)	倍

*

2

(1)	あ =
(2)	(定価で売った個数) : (定価で売れなかった個数) = :
(3)	%

*

3

(1)	い =	(2)	円
(3)	う =		

*

4

(1)	え =	(2)	お =
(3)	か =		

*

座 席 番 号

受 験 番 号	氏 名

*